



毛利元就入城500年記念

シンポジウム

シンポジウムⅠ 毛利氏 × 尼子氏 -元就の家督相続をめぐる-

11/19
(日)

講演
「家督相続前後の
毛利元就」



県立広島大学名誉教授
秋山 伸隆 氏



講演
「永正・大永年間の
尼子氏と毛利氏」

島根大学教授
長谷川 博史 氏

シンポジウムⅡ 郡山城 × 富田城 -戦国大名の本拠-

12/3
(日)

講演
「ここまでわかった郡山城
-郡山城調査研究の現在-」



日本考古学会会員
小都 隆 氏



講演
「富田城の構造
-中世の城から近世の城へ-」

安来市教育委員会
舟木 聡 氏

- ◆時 間：シンポジウムⅠ・Ⅱいずれも13：30～16：30(予定)
- ◆場 所：安芸高田市民文化センター(クリスタルアージュ)4階小ホール (広島県安芸高田市吉田町吉田761)
- ◆参 加 費：500円 (博物館入館料を含む)
- ◆申込方法：要申込。窓口・電話・当館サイト(トップページ右上「お問い合わせ」)にて
①住所 ②氏名 ③電話番号 ④希望シンポジウムをご連絡ください。(同伴者も①～④で申込可)
※会場の定員があるため必ず事前申込が必要です

【主催・問い合わせ・申込先】 **安芸高田市歴史民俗博物館**

〒731-0501 広島県安芸高田市吉田町吉田278-1 電話0826-42-0070 (9時～17時、火曜日休館)



毛利元就入城500年、家督相続と 本拠・郡山城に迫る2日間!!



大永3年(1523)、27歳の毛利元就は甥幸松丸の死を受けて家督を相続し猿掛城から郡山城に入城しました。幾多の戦を勝ち抜けて戦国大名になった元就は最後のライバル尼子氏を倒し中国地方一円を支配下に置きます。その過程で本拠・郡山城も全山城郭化し、西日本最大級の規模となったのです。

今年には元就入城500年を記念して2回にわたりシンポジウムを開催します。パートⅠでは500年前の元就の家督相続前後の毛利氏と尼子氏の状況を双方の視点から、パートⅡでは西日本最大級の山城、郡山城と尼子氏の本拠出雲富田城の構造を探ります。第一線で活躍する研究者による講演と意見交換が聞けるのはこのシンポジウムだけ!

11/19 (日) シンポジウムⅠ (第5回公開講座) 毛利氏 × 尼子氏 - 元就の家督相続をめぐって -



県立広島大学名誉教授
秋山 伸隆氏

専門は日本中世史、特に戦国大名毛利氏の研究。著書『戦国大名毛利氏の研究』他
開催中の当館企画展の監修者



島根大学教育学部教授
長谷川 博史氏

専門は日本中世史、特に尼子氏など中国地方の戦国史研究。著書『戦国大名尼子氏の研究』
『大内氏の興亡と西日本社会』他

- 12:30 開場
- 13:30 開会
- 13:35 講演1 秋山 伸隆氏
「家督相続前後の毛利元就」
- 14:35 講演2 長谷川 博史氏
「永正・大永年間の尼子氏と毛利氏」
- 15:35 意見交換
「元就の家督相続をめぐる毛利氏と尼子氏」
パネリスト: 秋山伸隆氏・長谷川博史氏
司会進行: 秋本 哲治(当館副館長)
- 16:30 閉会予定

12/3 (日) シンポジウムⅡ (第6回公開講座) 郡山城 × 富田城 - 戦国大名の本拠 -

- 12:30 開場(堀切凡夫氏撮影郡山城&富田城ドローン映像上映)
- 13:30 開会
- 13:35 講演1 小都 隆氏
「ここまでわかった郡山城
- 郡山城調査研究の現在 -」
- 14:35 講演2 舟木 聡氏
「富田城の構造
- 中世の城から近世の城へ -」
- 15:35 意見交換
「郡山城と富田城の構造」
パネリスト: 小都 隆氏・舟木 聡氏
司会進行: 秋本 哲治(当館副館長)
- 16:30 閉会予定



日本考古学協会会員
小都 隆氏

専門は考古学、特に広島県を中心とした中世城館の研究。著書『考古学から探る郡山城』他
開催中の当館企画展の監修者



安来市教育委員会文化課専門官
舟木 聡氏

専門は考古学。富田城の調査・整備に長年携わる。著書「富田城跡の発掘調査」『出雲の山城』他

同時開催 毛利元就郡山入城500年記念企画展 「毛利氏 × 郡山城 - 元就生涯の城 -」

会期: 10月28日(土)~12月4日(月) / 開館時間: 9時~17時 / 休館日: 火曜日・11月24日(金)
会場: 安芸高田市歴史民俗博物館 (広島県安芸高田市吉田町吉田278-1 / 電話0826-42-0070)

